

第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画 策定のためのアンケート調査結果

調査結果の概要

軽井沢町



調査概要

調査の目的

「第3期軽井沢町子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料として、調査を実施

調査対象

軽井沢町在住の就学前児童のいる保護者
軽井沢町在住の小学生児童のいる保護者

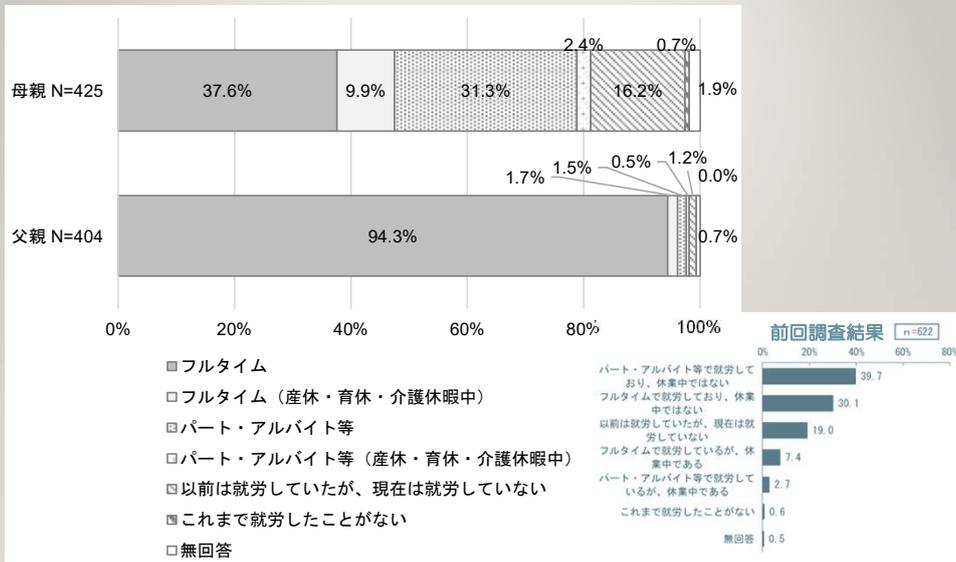
調査期間

令和6年（2024年）3月

回収結果

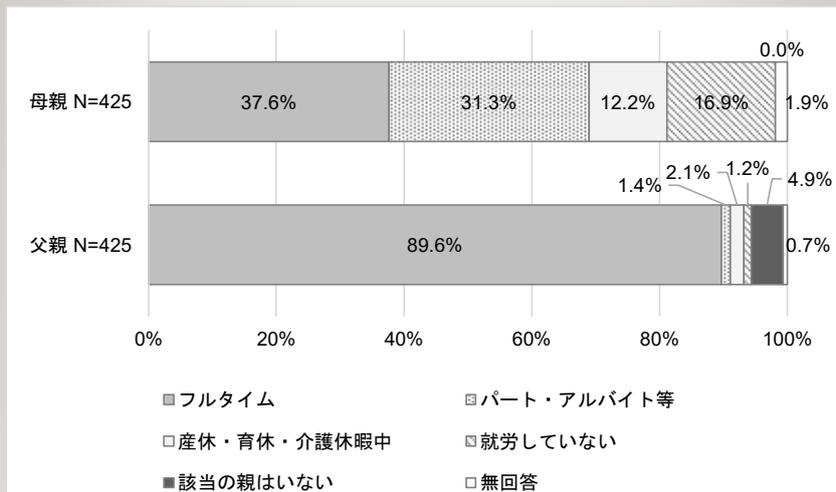
	配布数	有効回収票数	回収率
就学前児童世帯	736票	425票	57.7%
小学生児童世帯	913票	512票	56.1%

保護者の就労状況



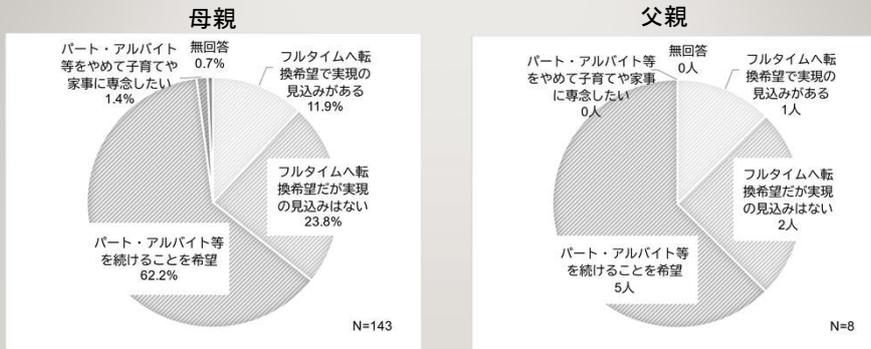
前回結果同様、就学前児童／父親はフルタイム、母親がパート・アルバイト等またはフルタイムの「共働き世帯」が多い。

母子家庭は全体の4.9%、「産休・育休・介護休暇中」の人を除く**現在就労中の母親はフルタイム、パートタイム含めて68.9%**

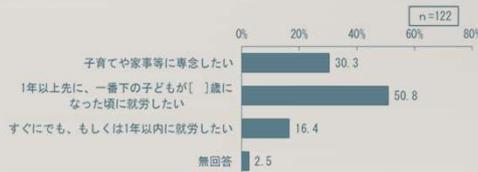


- * 「産休・育休・介護休暇中」は「フルタイム」と「パート・アルバイト等」を合算
- * 「就労していない」は「以前は就労していた」と「これまで就労したことはない」を合算
- * 「該当の親はいない」は問4 (配偶関係) から算出

パート・アルバイト等就労者の将来就労希望



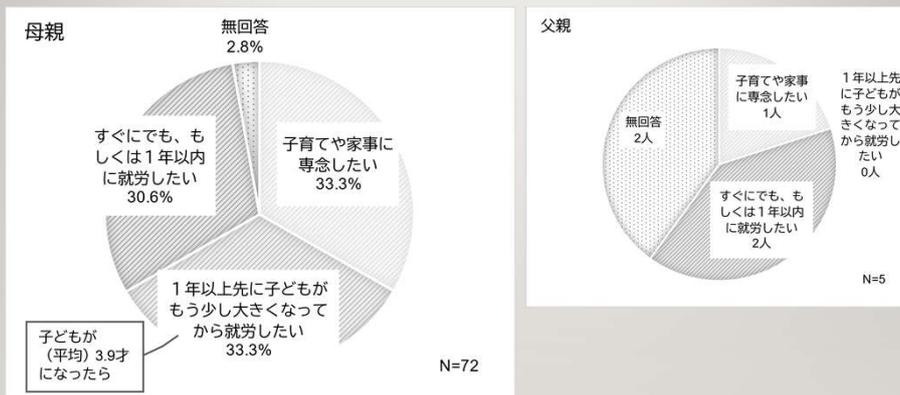
前回調査結果



- 現在パート・アルバイト等で就労している母親の62.2%はパート・アルバイト等での就労継続を希望 (前回57.6%)
- フルタイムへの転換希望で「見込みがある」人は11.9% (前回12.5%)
- 父親に関しては対象世帯数が少ないため人数ベースで作図

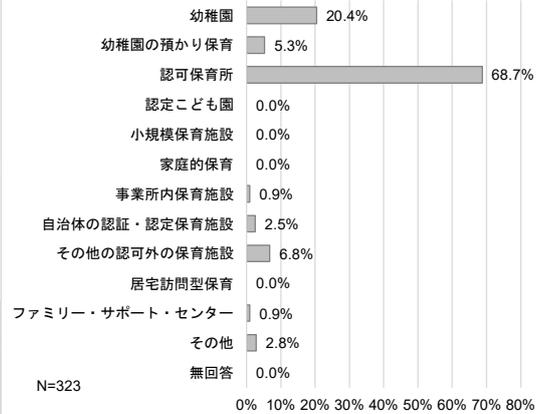
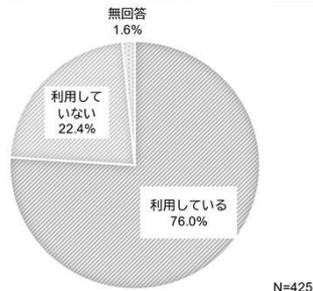
- 前回同様の傾向で、母親はパート・アルバイト等での就労継続を希望割合が若干増加
- フルタイムへの転換希望で「見込みがある」人の割合も前回とほぼ同様

現在未就労者の将来就労希望



- 現在就労していない母親の内、今後も就労希望がない人は33.3%、「1年以上先」が33.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内」が30.6%と、**ちょうど1/3ずつの希望**
- 父親に関しては対象世帯数が少ないため人数ベースで作図

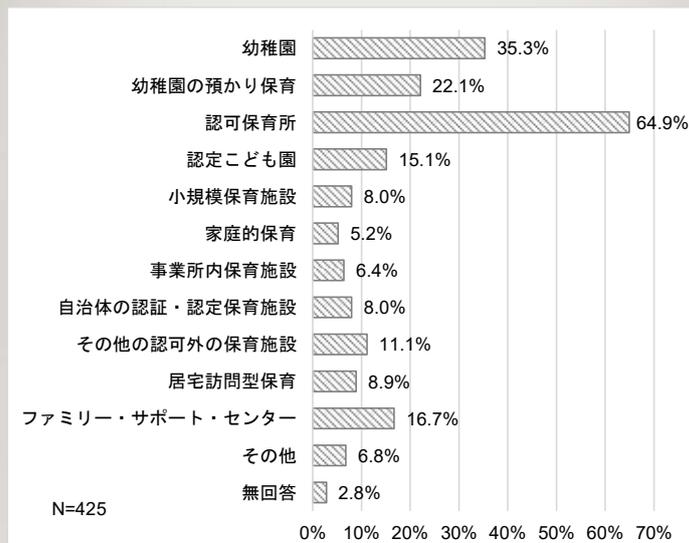
子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況



- 平日の定期的な教育・保育事業の利用率は76.0%
- この内、利用が多いのは「認可保育所」で68.7%、次いで「幼稚園」が20.4%

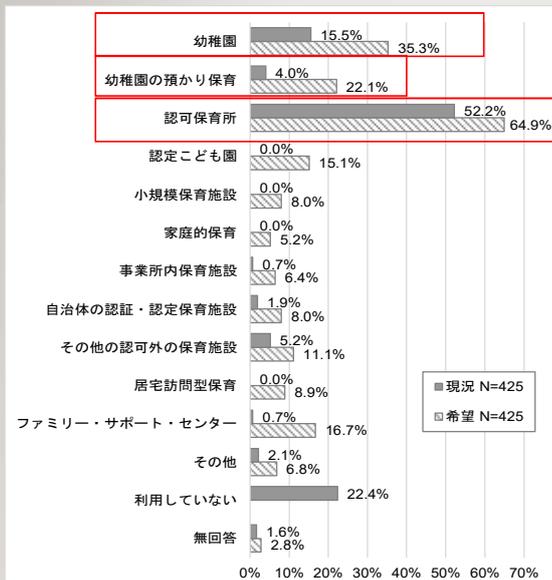
前回アンケートでは、就学前児童／教育・保育事業の利用希望（平日）は保育園（認可保育所）60～80%、幼稚園30%程度

平日、定期的にご利用したい教育・保育事業



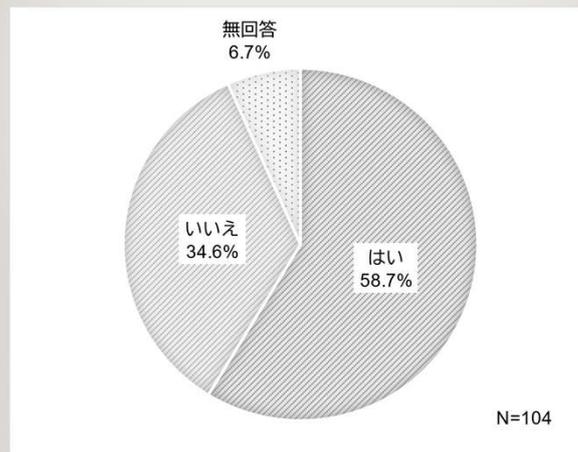
平日の定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」が最も多く64.9%。以下「幼稚園」（35.3%）、「幼稚園の預かり保育」（22.1%）

平日における定期利用教育・保育事業（現状と希望の比較）



- 希望率が現状利用率を最も大きく上回っているのは「幼稚園」で、現状利用率と希望率の差は +19.8%
次いで「幼稚園の預かり保育」が+18.1%
- 「認可保育所」が+12.7%
- 現状では利用が全くなかった「認定こども園」「小規模保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」等においても5~15%の利用希望が確認

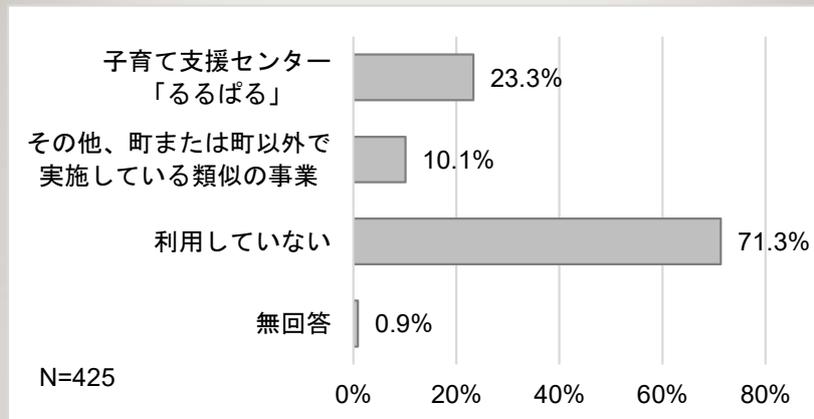
幼稚園の利用希望



- 幼稚園の利用を強く希望する世帯は58.7%
- 希望しない世帯は34.6%

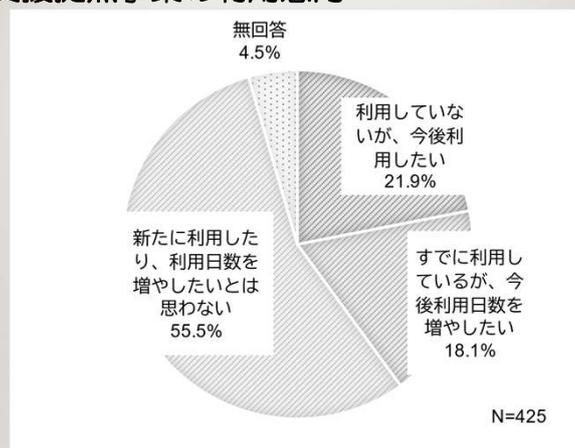
前回アンケートでは、幼稚園の利用希望は30%程度だったが、幼稚園利用の希望割合が約倍増に変化

地域子育て支援拠点事業の利用



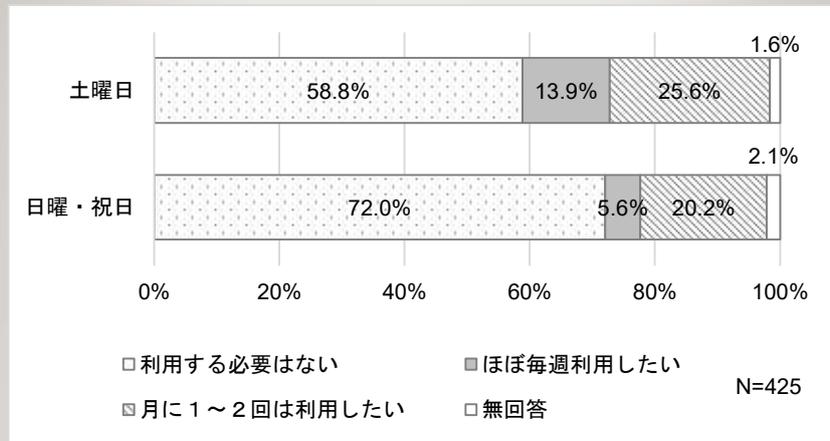
- 「るるるる」の利用者は23.3%、類似の他事業の利用は10.1%
- 地域子育て支援拠点事業を利用していない世帯は71.3%
- 「るるるる」の利用頻度は、1回/月（26人）、2回/月（22人）、1回/週（18人）

地域子育て支援拠点事業の利用意向



- 「利用していないが、今後利用したい」が21.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が18.1%、「今後利用したい」と「今後利用日数を増やしたい」を合わせると**4割の世帯で利用の拡大が想定**されている
- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は55.5%

土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

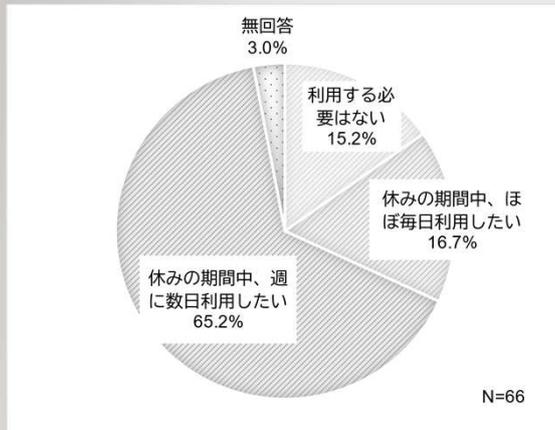


- ほぼ毎週利用したい」が13.9%、「月に1～2回は利用したい」が25.6%と、**合わせて約4割が利用を希望**
- 日曜日や祝日は、「ほぼ毎週利用したい」が5.6%、「月に1～2回は利用したい」が20.2%と、それぞれ土曜日よりも低い割合

休日保育の良い点、改善すべき点

良い点	件数	改善点	件数
土曜日も預けられる	13	土日祝の保育が不足している／限定されている	8
安心して子供を預けられる	5	保育時間や日数に制限がある	7
子供が異年齢の子と遊べる	4	必要な荷物が多い	4
清潔な環境	1	申込みの手続きが煩雑／急なニーズへの対応	6
栄養バランスの良い給食	1	食事の提供がない	4
料金が比較的安い	1	保育教員の人事が不安定	3
先生の優しさ	1	保育料金が低い／支払のシステム	3
年中行事が多い	1	家族の考え方等、古い習慣が残っている	1

(幼稚園利用者) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

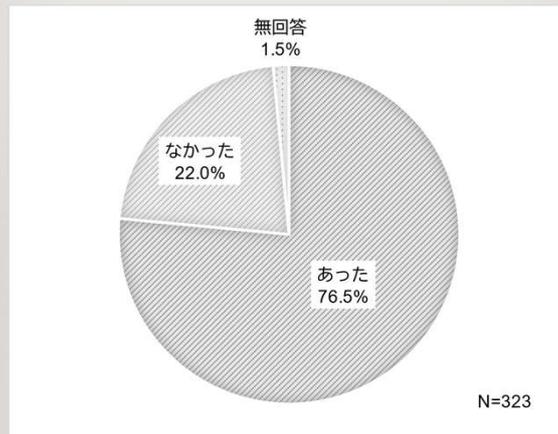


- 幼稚園利用者の長期休暇中教育・保育事業利用の希望では、**65.2%**が「**休みの期間中、週に数日利用したい**」との回答
- 「**休みの期間中、ほぼ毎日利用したい**」は**16.7%**、「利用する必要はない」は**15.2%**
- 利用希望時間帯は**平均で8時53分～15時36分**

- 前回調査では、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の利用希望では、「休みの期間中、週に数日利用したい」は41.1%で、今回のアンケートは利用希望が約6割以上に増加

病気やケガの際の対応 (平日の定期的な教育・保育事業利用者)

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験 (最近1年間)



最近1年間で子どもの病気やケガで**通常の事業が利用できなかったことのある世帯は76.5%**

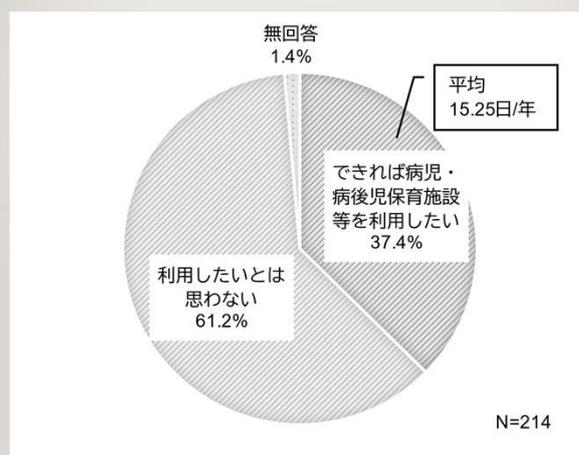
通常事業が利用できなかった際の対処方法とその日数

N=247	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均	
父親が休んだ							34.4%	3.78日
母親が休んだ							82.6%	9.50日
親族・知人に子どもをみてもらった							16.2%	9.51日
父親、母親の就労していない方が子どもをみた							13.8%	9.73日
病児・病後児の保育を利用した							2.4%	3.17日
ベビーシッター（民間）を利用した							2.0%	6.60日
ファミリー・サポート・センターを利用した							0.4%	1.00日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた							2.4%	4.33日
その他							4.5%	6.50日
無回答							0.0%	

平均値 N<10：薄字表記

- 対処方法では「**母親が休んだ**」82.6%が最も多く、「**父親が休んだ**」は34.4%
- 母親が休んだ**平均日数は9.50日**、父親が休んだ**平均日数は3.78日**

病児・病後児保育施設等の利用希望（親が休んで対処した場合）



- 母親、もしくは父親が休んで対処した世帯では、「できれば病児・病後保育施設等を利用したい」の比率は37.4%、「利用したいとは思わない」は61.2%
- 利用を希望する場合の想定日数は、平均15.25日/年

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

不定期に利用している事業

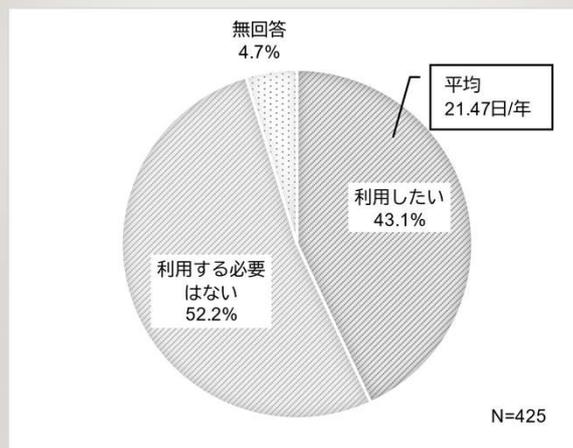
N=425	0%	20%	40%	60%	80%	100%	(平均)
一時保育	4.7%						20.05日/年 5.29時間
幼稚園の預かり保育	3.3%						18.82日/年 3.67時間
ファミリー・サポート・センター	1.4%						4.75日/年 9.00時間
トワイライトステイ事業	0.2%						5.00日/年 4.00時間
ベビーシッター（民間）	4.5%						16.62日/年 14.25時間
その他	3.3%						14.50日/年 5.00時間
利用していない						79.5%	
無回答	7.5%						

平均値 N<10：薄字表記

- 利用率が高かったのは「一時保育」は4.7%（平均20.05日/年利用）
- 「ベビーシッター（民間）」は4.5%（平均16.62日/年利用）等

19

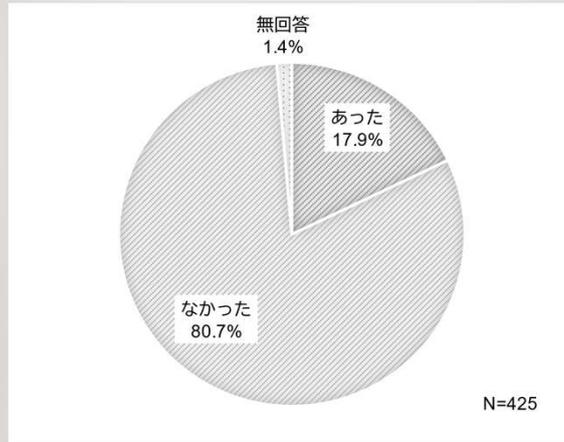
事業の不定期利用意向



- 事業の不定期的な利用意向は43.1%（平均21.4日/年）
- 事業の不定期的な利用目的では、「私用、リフレッシュ目的」は74.9%（平均13.34日/年）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は64.5%（平均6.96日/年）、「不定期の就労」は40.4%（平均16.94日/年）

20

保護者の用事による宿泊を伴う一時預かり等の経験（最近1年間）



- 宿泊を伴う一時預かり等が「あった」は17.9%
- 宿泊を伴う対処の内訳では「親族・知人に見てもらった」（78.9%）、「同行させた」（17.1%）、「仕方なく子どもを同行させた」（15.8%）

21

就学後の放課後の過ごし方（5才以上世帯）

過ごし方	割合	平均値 N<10 : 薄字表記	
		低学年	高学年
自宅	51.0%	2.95日/週	3.48日/週
祖父母宅、友人・知人宅	10.9%	2.36日/週	1.89日/週
習い事	57.8%	2.18日/週	2.43日/週
児童館（放課後子ども教室の活動以外）	43.5%	3.17日/週	2.31日/週
放課後子ども教室	34.7%	3.09日/週	2.69日/週
ファミリー・サポート・センター	0.0%	-	-
その他（公民館、公園等）	5.4%	2.25日/週	2.00日/週
無回答	7.5%		

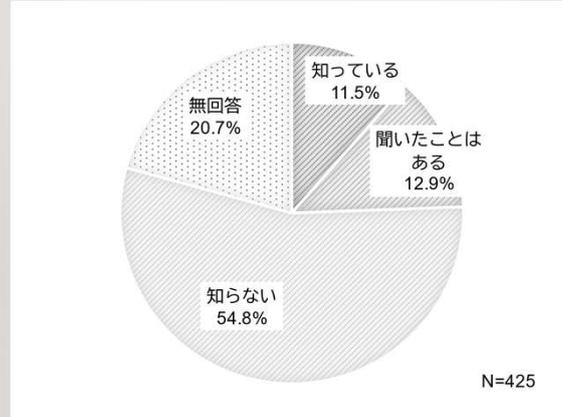
放課後子ども教室：低学年時・下校から 16.95 時まで
高学年時・下校から 17.41 時まで

- 放課後の過ごし方意向では「習い事」（57.8%）が最も高く、以下「自宅」（51.0%）、「児童館」（43.5%）、「放課後子ども教室」（34.7%）
- 週あたりの頻度を平均値で見ると、それぞれ2~3日/週
- 高学年では低学年と比べて「自宅」や「習い事」の値がやや上昇し、「児童館」や「放課後子ども教室」の値がやや低下

22

こども誰でも通園制度

こども誰でも通園制度の認知

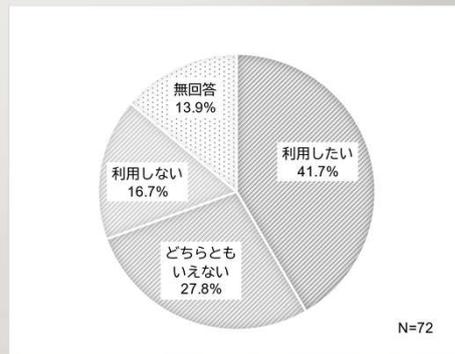
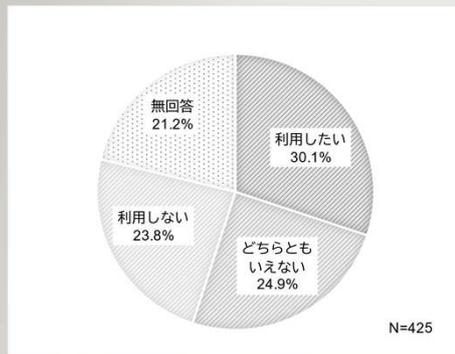


- こども誰でも通園制度の認知率は「知っている」(11.5%)
「聞いたことはある」(12.9%)

23

こども誰でも通園制度の利用意向

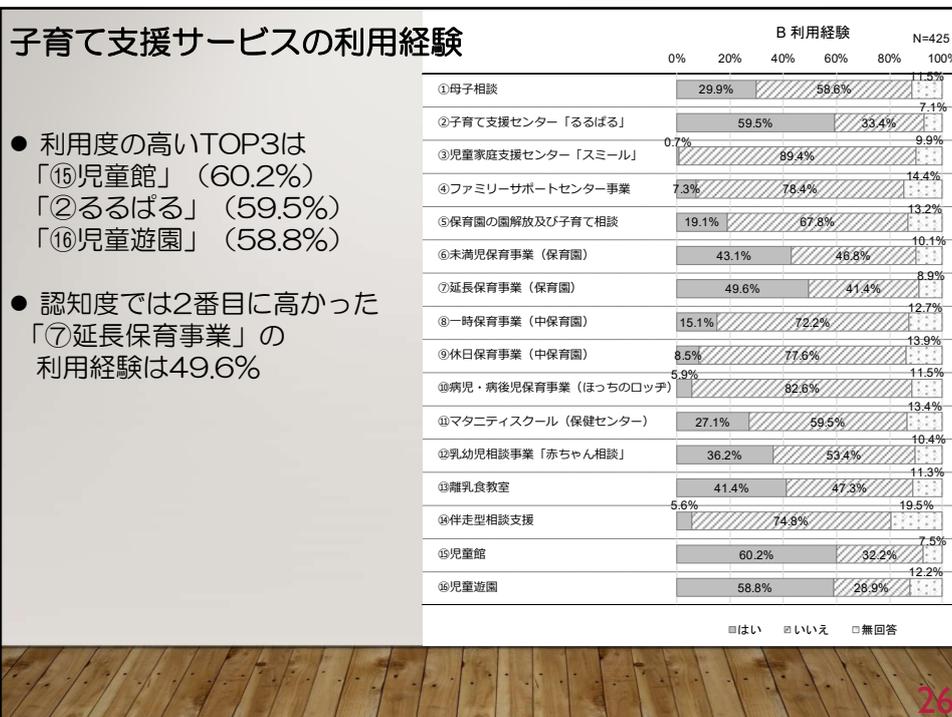
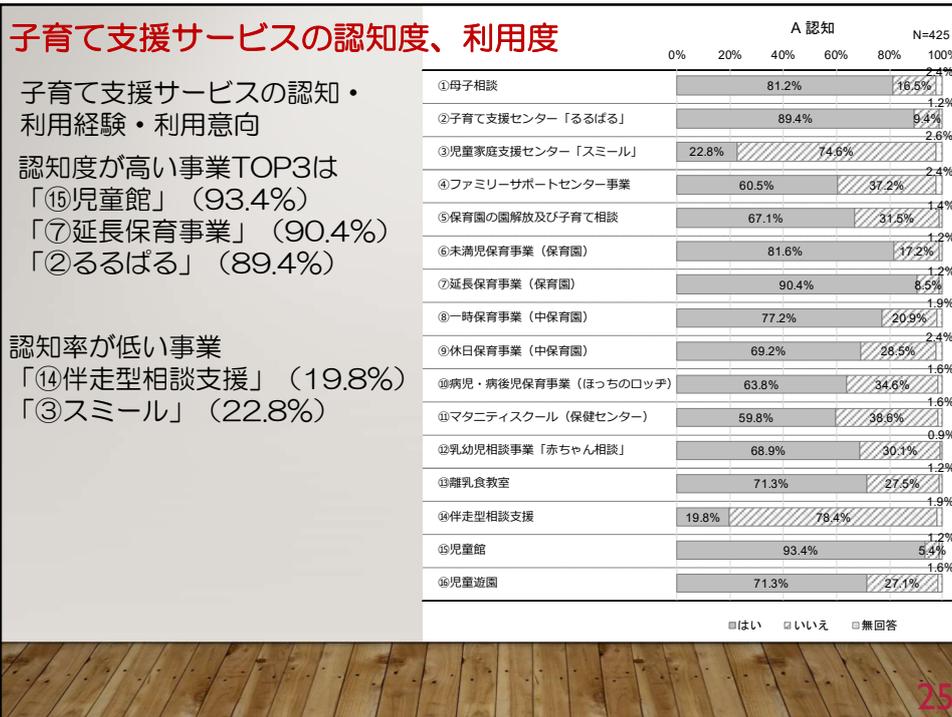
母親が専業主婦の場合

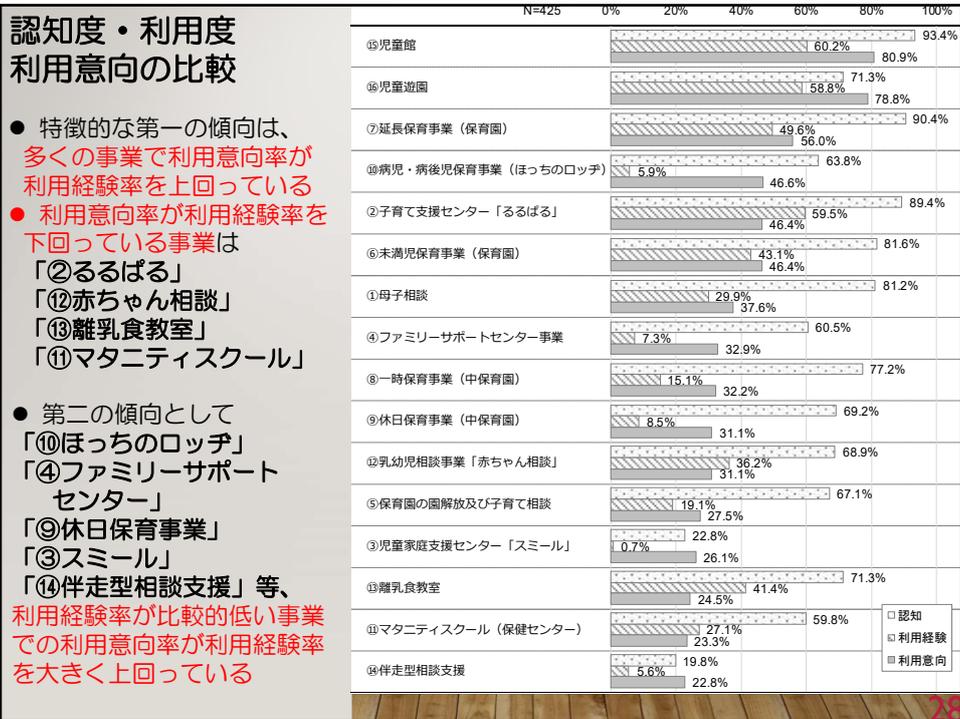
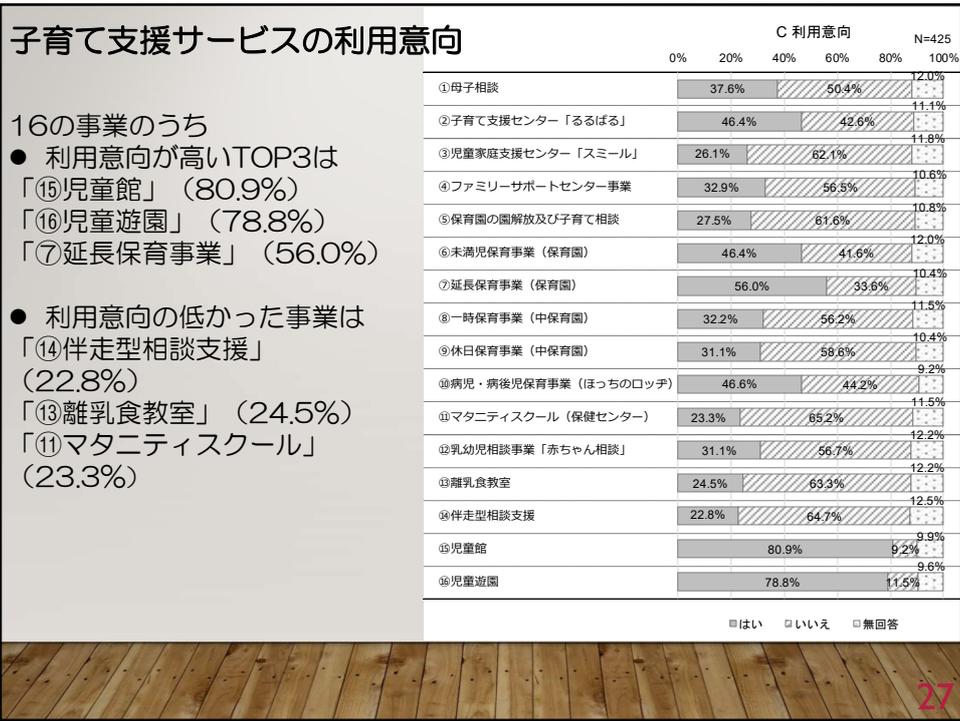


- こども誰でも通園制度の利用意向は「利用したい」が30.1%

- 母親が専業主婦(無業)である場合についてみると「利用したい」の比率は41.7%

24





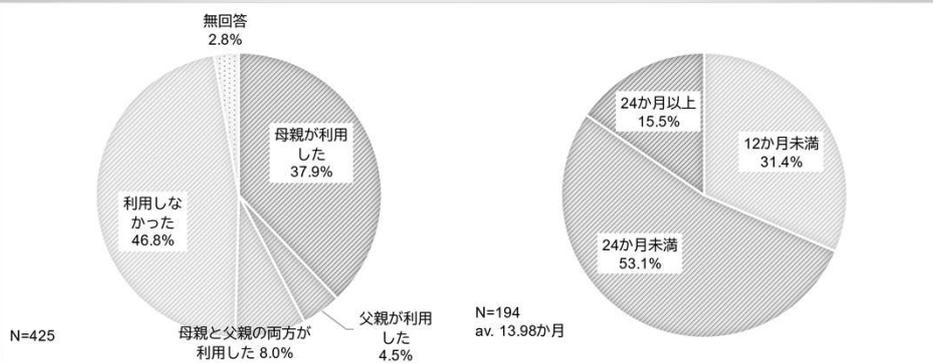
「はい」の比率による傾向の分析（利用意向順に並び替え）			
A：認知度、B：利用度、C：利用意向として N=425	B/A	C/B	C/A
	認知度=1とした利用度	利用度=1とした利用意向	認知度=1とした利用意向
⑮児童館	0.64	1.34	0.87
⑯児童遊園	0.82	1.34	1.11
⑦延長保育事業（保育園）	0.55	1.13	0.62
⑩病児・病後児保育事業（ほっちのロッヂ）	0.09	7.90	0.73
②子育て支援センター「るるぼる」	0.67	0.78	0.52
⑥未満児保育事業（保育園）	0.53	1.08	0.57
①母子相談	0.37	1.26	0.46
④ファミリーサポートセンター事業	0.12	4.51	0.54
⑧一時保育事業（中保育園）	0.20	2.13	0.42
⑨休日保育事業（中保育園）	0.12	3.66	0.45
⑫乳幼児相談事業「赤ちゃん相談」	0.53	0.86	0.45
⑤保育園の園解放及び子育て相談	0.28	1.44	0.41
③児童家庭支援センター「スマイル」	0.03	37.29	1.14
⑬離乳食教室	0.58	0.59	0.34
⑪マタニティスクール（保健センター）	0.45	0.86	0.39
⑭伴走型相談支援	0.28	4.07	1.15
	(最大値=1で図示)	(最大値=5で図示)	(最大値=1で図示)

子どもの年齢別「はい」の比率 【認知率】			
【認知率】	0才	1～2才	3才以上
①母子相談	83.3%	85.3%	79.3%
②子育て支援センター「るるぼる」	88.9%	92.2%	88.4%
③児童家庭支援センター「スマイル」	16.7%	24.5%	23.2%
④ファミリーサポートセンター事業	52.8%	59.8%	61.8%
⑤保育園の園解放及び子育て相談	52.8%	63.7%	69.8%
⑥未満児保育事業（保育園）	83.3%	85.3%	80.0%
⑦延長保育事業（保育園）	80.6%	91.2%	91.2%
⑧一時保育事業（中保育園）	72.2%	77.5%	77.5%
⑨休日保育事業（中保育園）	72.2%	65.7%	69.8%
⑩病児・病後児保育事業（ほっちのロッヂ）	63.9%	60.8%	64.6%
⑪マタニティスクール（保健センター）	75.0%	62.7%	56.5%
⑫乳幼児相談事業「赤ちゃん相談」	80.6%	75.5%	64.9%
⑬離乳食教室	88.9%	77.5%	66.7%
⑭伴走型相談支援	38.9%	23.5%	16.1%
⑮児童館	88.9%	90.2%	95.1%
⑯児童遊園	63.9%	67.6%	73.3%
	N=36	N=102	N=285

子どもの年齢別「はい」の比率 【利用経験率】			
【利用経験率】	0才	1～2才	3才以上
①母子相談	36.1%	26.5%	30.5%
②子育て支援センター「るるぼる」	63.9%	64.7%	57.2%
③児童家庭支援センター「スマイル」	0.0%	1.0%	0.7%
④ファミリーサポートセンター事業	0.0%	7.8%	8.1%
⑤保育園の園解放及び子育て相談	11.1%	16.7%	21.1%
⑥未満児保育事業（保育園）	36.1%	42.2%	43.9%
⑦延長保育事業（保育園）	25.0%	43.1%	54.7%
⑧一時保育事業（中保育園）	2.8%	19.6%	15.1%
⑨休日保育事業（中保育園）	0.0%	10.8%	8.8%
⑩病児・病後児保育事業（ほっちのロッヂ）	8.3%	5.9%	5.6%
⑪マタニティスクール（保健センター）	27.8%	24.5%	27.7%
⑫乳幼児相談事業「赤ちゃん相談」	27.8%	36.3%	37.5%
⑬離乳食教室	27.8%	44.1%	42.1%
⑭伴走型相談支援	19.4%	6.9%	3.5%
⑮児童館	36.1%	45.1%	68.8%
⑯児童遊園	38.9%	50.0%	64.2%
	N=36	N=102	N=285

子どもの年齢別「はい」の比率 【利用意向率】			
【利用意向率】	0才	1～2才	3才以上
①母子相談	63.9%	42.2%	33.0%
②子育て支援センター「るるぼる」	86.1%	61.8%	36.1%
③児童家庭支援センター「スマイル」	36.1%	27.5%	24.2%
④ファミリーサポートセンター事業	38.9%	36.3%	30.9%
⑤保育園の園解放及び子育て相談	66.7%	35.3%	20.0%
⑥未満児保育事業（保育園）	77.8%	64.7%	35.8%
⑦延長保育事業（保育園）	69.4%	66.7%	50.5%
⑧一時保育事業（中保育園）	55.6%	48.0%	23.9%
⑨休日保育事業（中保育園）	50.0%	42.2%	24.9%
⑩病児・病後児保育事業（ほっちのロッヂ）	61.1%	50.0%	43.5%
⑪マタニティスクール（保健センター）	44.4%	22.5%	20.7%
⑫乳幼児相談事業「赤ちゃん相談」	66.7%	39.2%	23.5%
⑬離乳食教室	58.3%	26.5%	19.3%
⑭伴走型相談支援	50.0%	24.5%	18.6%
⑮児童館	94.4%	75.5%	81.1%
⑯児童遊園	91.7%	76.5%	77.9%
	N=36	N=102	N=285

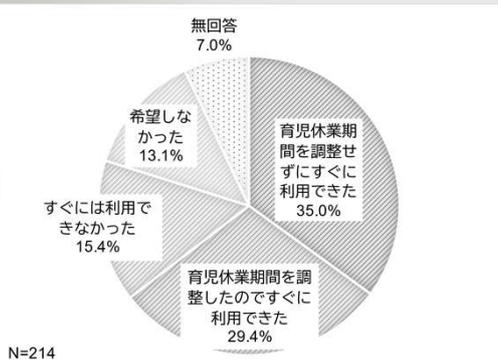
育児休業制度の利用



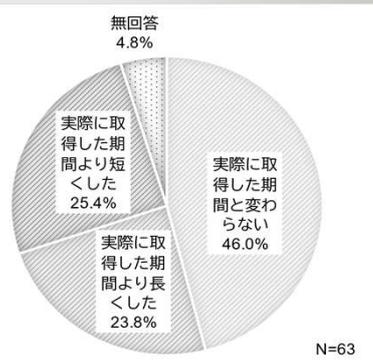
- 育児休業制度の利用率は「母親が利用した」が37.9%、「父親が利用した」が4.5%、「両親とも利用した」が8.0%
- 合わせて50.4%の世帯で制度が利用されていました。

- 育児休業期間からの復帰時の子どもの月齢は平均では13.98か月
- 12～24か月未満での復帰が制度利用者中53.1%

育児休業明けの保育サービス利用



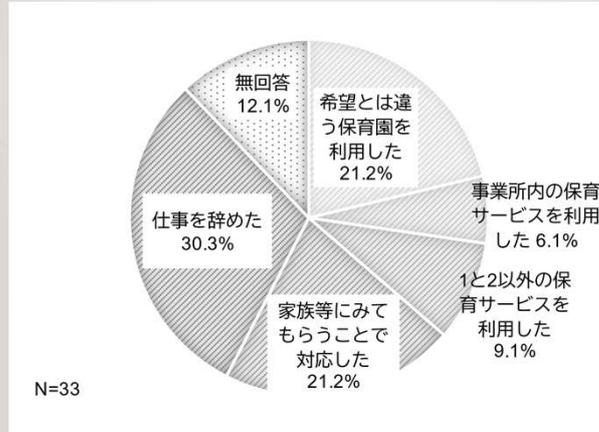
育児休業は実際に取得した期間との変化



制度利用者の、育児休業明けの保育サービス利用は「育児休業期間を調整せずすぐに利用できた」が35.0%
「育児休業期間を調整したのですぐに利用できた」が29.4%

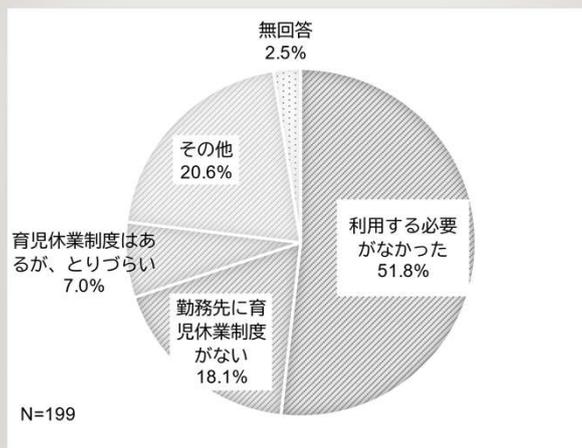
	実際		希望	
長くした	N=15	14.53か月	N=13	13.85か月
短くした	N=16	17.06か月	N=15	11.33か月

休業明けに保育サービスを「すぐには利用できなかった」人の対処方法



対処方法は、「仕事を辞めた」が30.3%で最も多く、「希望とは違う保育園を利用した」が21.2%、「家族等にみてもらうことで対応した」が同じく21.2%

育児休業制度を利用しなかった人の理由

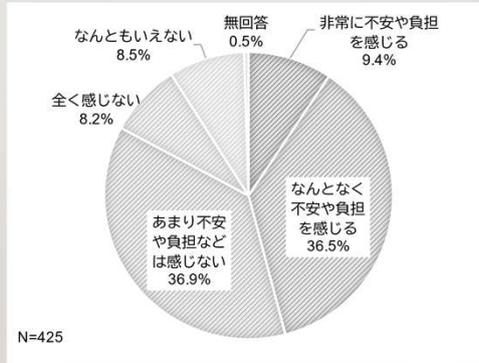


制度を利用しなかった理由は

- 「利用する必要がなかった」 51.8%
- 「勤務先に育児休業制度がない」 18.1%
- 「育児休業制度はあるが、とりづらい」 が7.0%

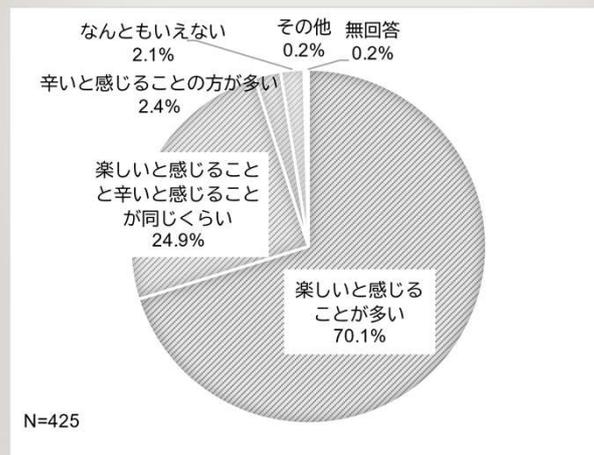
子育てについて

子育てに関する不安感、負担感



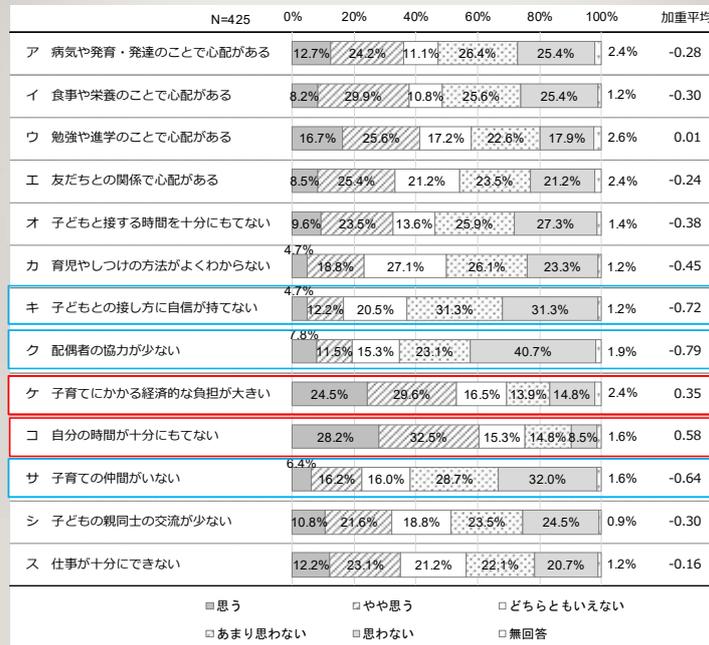
- 子育てに関する不安感や負担感では「非常に感じる」が9.4%、「なんとなく感じる」が36.5%で、「非常に感じる」と「なんとなく感じる」合わせると45.9%の人が感じているという構成
- 「全く感じない」(8.2%)、「あまり感じない」(36.9%)といった「感じない」とする比率(45.1%)
- 負担感の感じ方は、感じていると居ないはほぼ同値で、反応は半々に分かれる 37

子育てを楽しんでいるか



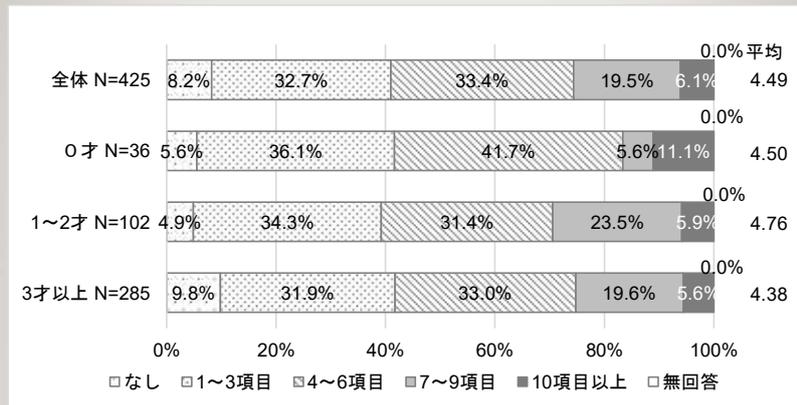
- 「楽しいと感じることが多い」と答えた人が70.1%
- 「辛いと感じることが多い」は2.4%

子育てに関する悩みや気にかかること



39

子育ての悩みごとの多さ/少なさ

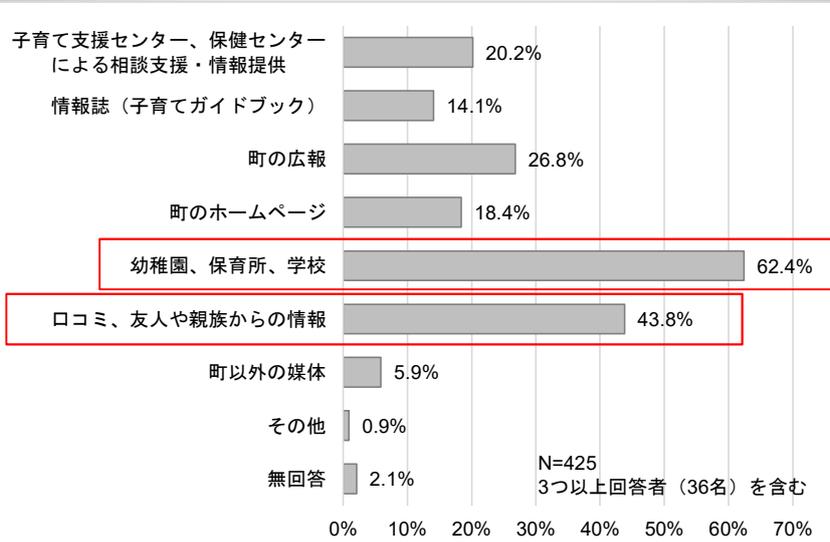


- 悩みごと「なし」だった保護者は全体の8.2%
- 7項目以上（13項目の半分以上）に反応した保護者は計25.6%と全体の1/4
- 平均では4.49項目への反応があり

悩みごとの具体的内容については報告書P50を参照

40

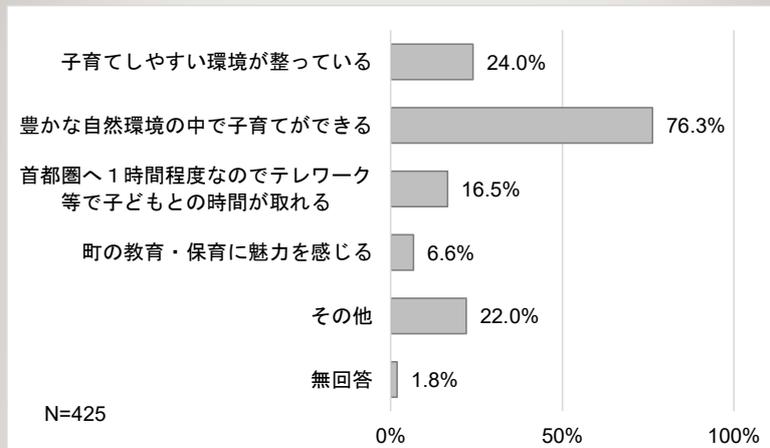
町の子育て支援情報の入手経路



町の子育てに関する意見や要望

テーマ	記述内容	件数
●保育サービスの拡充、その使い勝手の改善要望	多様な保育サービスの拡充と使い勝手の改善	109
	子育て支援の充実（ソフト施策）	51
	託児施設・保育園の増設希望	17
●子どもの遊び場や学びの機会に関する意見	子供が遊べる場についての意見（増設、改善）	50
	室内や屋根付きの遊び場についての意見	27
	幼児学習や習い事、文化・芸術に触れる機会への意見	17
	小学校以上の教育環境に不安	9
●町内の医療環境に関する意見	健診等を含む医療環境についての意見	47
	町内に産科がない	19
●保育園の運営に関する要望、意見	保育園等の施設運営について（持参物、保護者会、スタッフ等）	44
	保育園の給食制度について（無償化、内容、主食持参、食育等）	23
	保育士、関係機関、スタッフへの感謝（保育士の待遇改善）	22
●経済的支援に関する要望	子供の医療費の無料化や補助／助成を望む	23
	子育てに関する経済的支援の要望	17
	保育料の無償化、補助／減額	10
●その他	町内の環境（人、自然、授乳施設、企業、役所）	24
	子どもも利用／参加できる店舗やサービス、イベント	22
	道路環境の整備（歩道、街灯、除雪）	17
	送迎の負担感、移動の難しさ（スクールバス	14
	子育て関連の情報提供、そのIT化要望	17
	親同士／地域内交流の場を求める	7

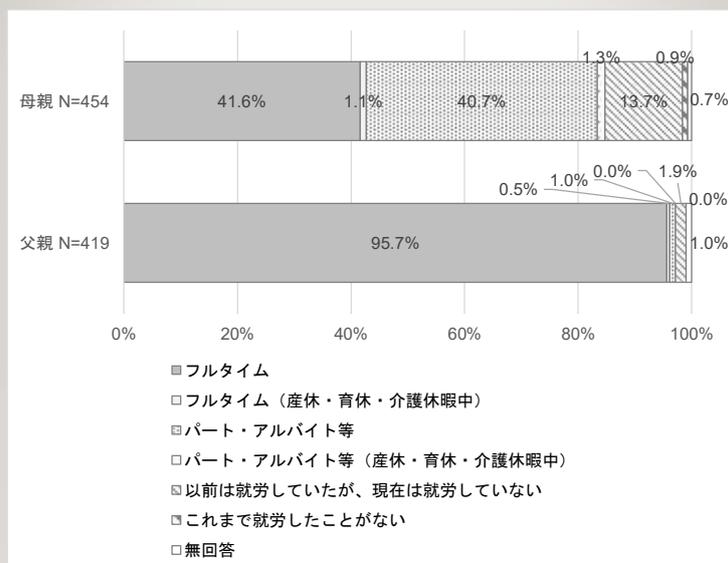
小学生児童世帯の調査結果



軽井沢町で子育てをすることについては「豊かな自然環境」への支持が最も高く、76.3%

45

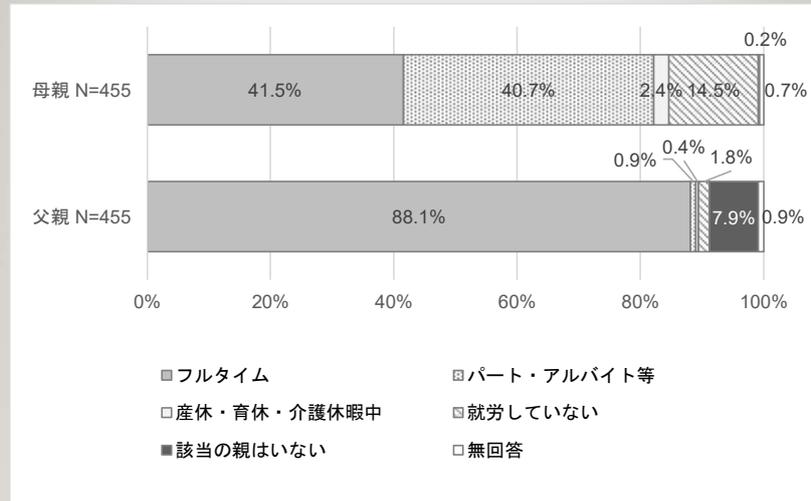
保護者の就労状況



前回結果同様、就学前児童／父親はフルタイム、母親がパート・アルバイト等またはフルタイムの「共働き世帯」が多い。

46

母子家庭は全体の7.9%、「産休・育休・介護休暇中」の人を除く
現在就労中の母親はフルタイム、パートタイム含めて82.2%



- * 「産休・育休・介護休暇中」は「フルタイム」と「パート・アルバイト等」を合算
- * 「就労していない」は「以前は就労していた」と「これまで就労したことはない」を合算
- * 「該当の親はいない」は問4（配偶関係）から算出

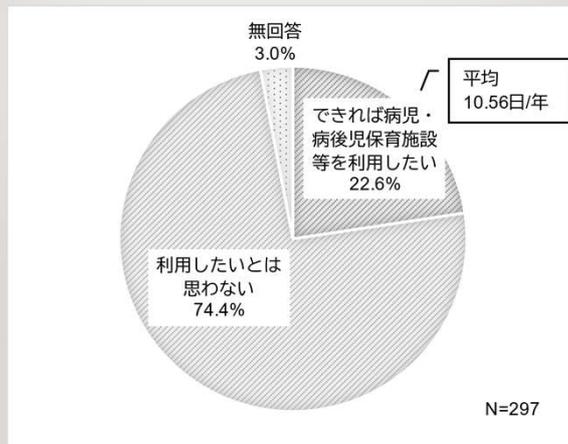
子どもが学校を休んだ際の対処方法とその日数

対処方法	割合	平均日数
父親が休んだ	21.5%	3.47日
母親が休んだ	71.0%	7.17日
親族・知人に子どもをみてもらった	16.7%	5.27日
父親、母親の就労していない方が子どもをみた	17.7%	7.56日
家事・育児代行等を利用した	1.0%	5.75日
ファミリー・サポート・センターを利用した	0.0%	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	12.4%	4.29日
その他	10.1%	6.82日
無回答	0.3%	-

平均値 N<10：薄字表記

「母親が休んだ」71.0%、「父親が休んだ」21.5%、「父親、母親の就労していない方が子どもをみた」17.7%、「親戚・知人に子どもをみてもらった」16.7%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は12.4%

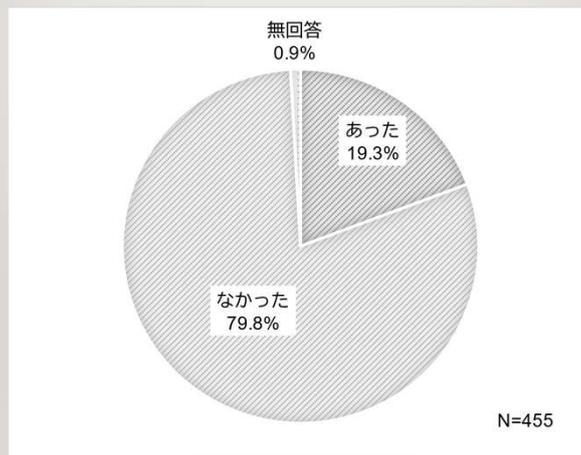
病児・病後児保育施設等の利用希望（親が休んで対処した場合）



- 母親、もしくは父親が休んで対処した世帯では、「できれば病児・病後保育施設等を利用したい」の比率は22.6%
- 「利用したいとは思わない」は74.4%

49

保護者の用事による宿泊を伴う一時預かり等の経験（最近1年間）



宿泊を伴う一時預かり等が「あった」は19.3%

50

親の用事への宿泊を伴う対処方法（内訳）

N=88	0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均	
親族・知人にみてもらった							77.3%	5.02泊
子育て短期支援事業を利用した	0.0%							-
それ以外の保育事業を利用した							2.3%	2.00泊
同行させた							20.5%	3.06泊
仕方なく子どもを同行させた							18.2%	3.92泊
仕方なく子どもだけで留守番をさせた							9.1%	1.17泊
その他							2.3%	2.00泊
無回答	0.0%							

平均値 N<10：薄字表記

「親族・知人にみてもらった」77.3%、「同行させた」20.5%、「仕方なく子どもを同行させた」18.2%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」9.1%

51

放課後の過ごし方

N=455	0%	20%	40%	60%	80%	現在	今後	
自宅							73.4%	3.67日/週
祖父母宅、友人・知人宅							14.3%	2.27日/週
習い事							50.1%	2.24日/週
児童館（放課後子ども教室の活動以外）							24.4%	3.21日/週
放課後子ども教室							25.1%	3.63日/週
ファミリー・サポート・センター							0.0%	1.50日/週
その他（公民館、公園等）							3.7%	1.56日/週
無回答							0.2%	

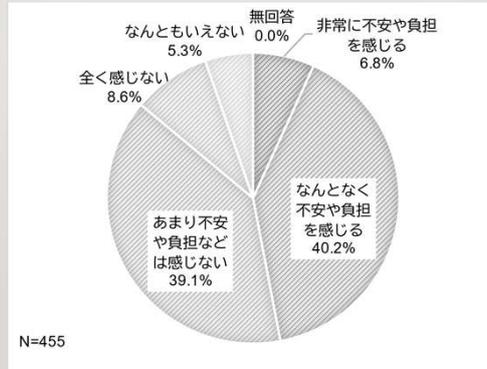
平均値 N<10：薄字表記

放課後子ども教室：現在・下校から 16時32分 まで
今後・下校から 16時58分 まで

52

子育てについて

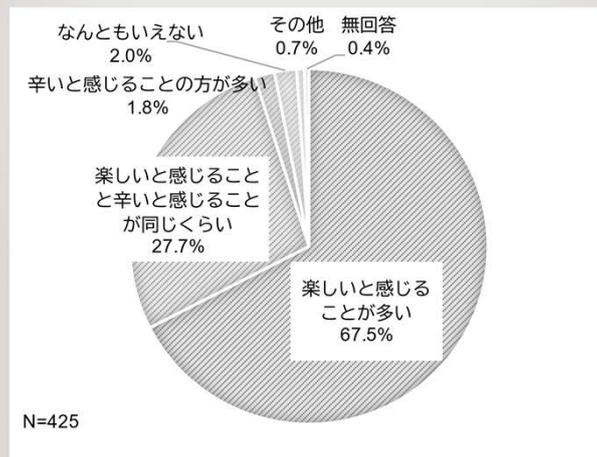
子育てに関する不安感、負担感



- 「非常に感じる」が6.8%、「なんとなく感じる」が40.2%で合わせて47.0%が不安感、負担感を「感じる」としている
- 「全く感じない」（8.6%）、「あまり感じない」（39.1%）といった「感じない」とする回答割合（47.7%）とほぼ同値、就学前児童の保護者同様、反応は半々に分かれる

55

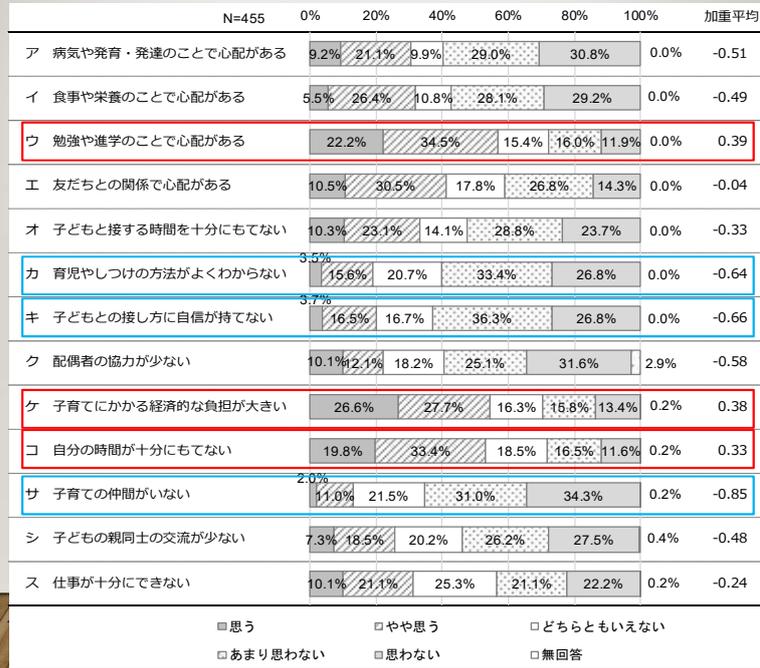
子育てを楽しんでいるか



- 「楽しいと感じることが多い」と答えた人が67.5%で最も多い
- 「楽しいと感じることと辛いと感じることが半々くらい」は27.7%

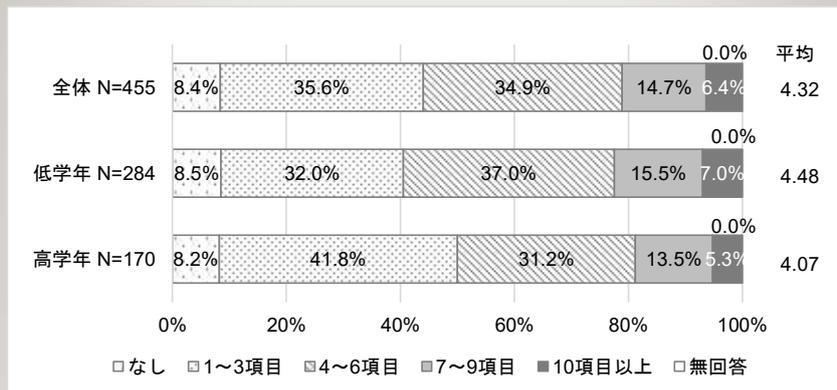
56

子育てに関する悩みや気にかかること



57

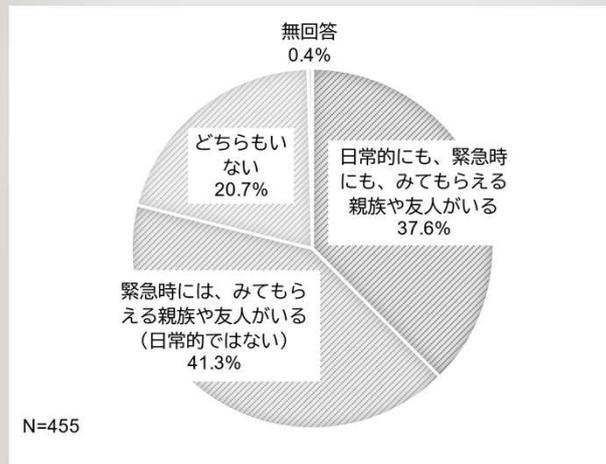
子育ての悩みごとの多さ/少なさ



- 13の悩みごと項目の内、平均値では低学年4.48項目に対して、高学年4.07項目で「そう思う」「まあそう思う」と回答

58

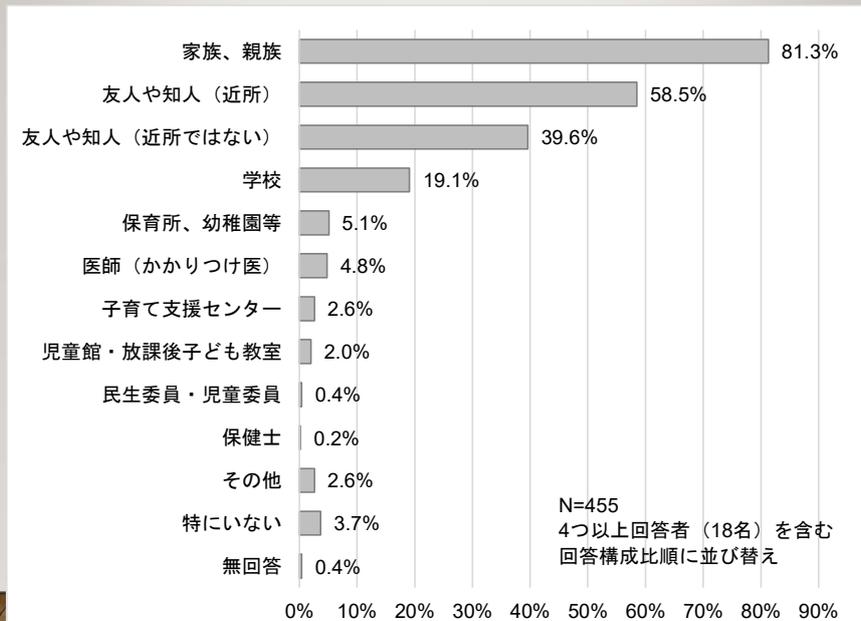
自宅以外で子どもをみてもらえる親族、友人



- 「日常的にも、緊急時にも、みてもらえる親族や友人がいる」が37.6%、
「緊急時には、みてもらえる親族や友人がいる (日常的ではない)」が41.3%、
「どちらもいない」は20.7%

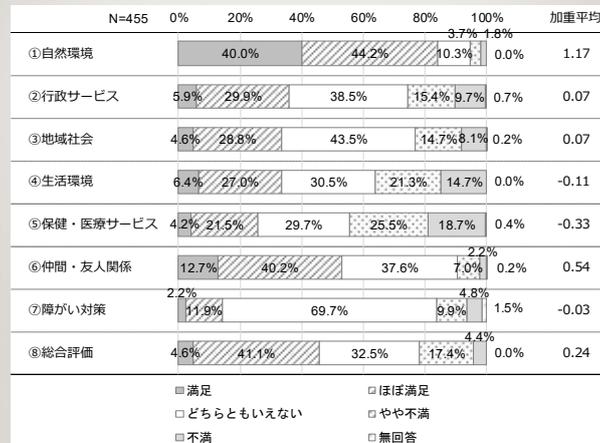
59

子育てや教育で気軽に相談できる先



60

軽井沢町の子育て環境



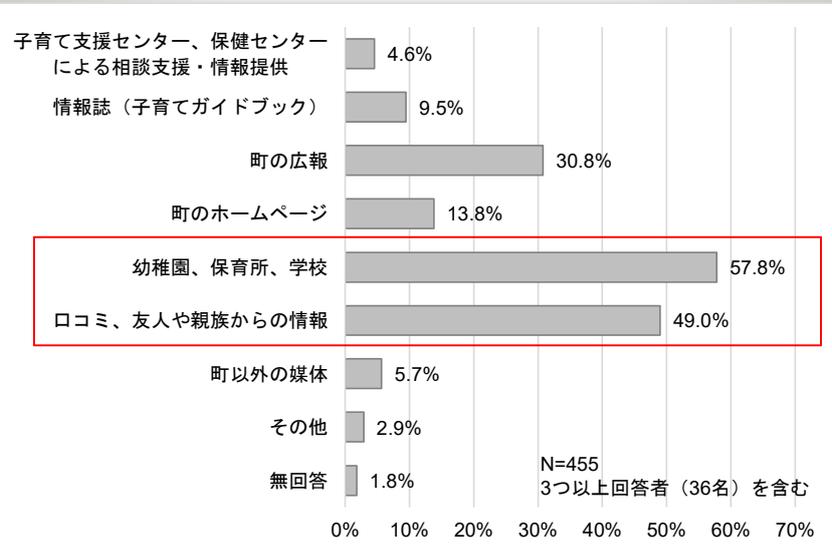
- 環境満足度では、「①自然環境」で「満足」が40.0%（加重平均1.17）が、就学前児童の保護者同様、最も高い評価
- 高い評価となったのは「⑥仲間・友人関係」、「満足」の比率は12.7%と「①自然環境」とは差がある
- 評価の比較的低かった項目が「⑤保健・医療サービス」が「不満」18.7%、となっている点も就学前児童の保護者と同様の傾向
- 「⑧総合評価」は「満足」（4.6%）、「ほぼ満足」が41.1%を占め、必ずしも手放して満足されているわけではない点も就学前児童の保護者と同様の傾向 **61**

軽井沢町居住歴と子育て環境満足度

	全体	20年以上	10～19年	5～9年	5年未満
①自然環境	1.17	1.07	0.96	1.29	1.38
②行政サービス	0.07	0.23	0.08	0.01	-0.01
③地域社会	0.07	0.16	-0.03	0.03	0.13
④生活環境	-0.11	-0.03	-0.30	-0.18	0.07
⑤保健・医療サービス	-0.33	-0.02	-0.29	-0.45	-0.52
⑥仲間・友人関係	0.54	0.63	0.51	0.54	0.51
⑦障がい対策	-0.03	0.05	-0.03	-0.01	-0.11
⑧総合評価	0.24	0.30	0.10	0.23	0.36
	N=455	N=111	N=120	N=87	N=134

* 最大値=1.5、最小値-1.5で作図 * 「20年以上」は「生まれた時から」を含む

町の子育て支援情報の入手経路



町の子育てに関する意見や要望

テーマ	記述内容	件数
●学校に対する意見、要望	学校運営、教育内容、教師等に対する要望や意見	80
	学校でのPTAや親の当番制への負担感、疑問	29
	給食の内容に関する要望	21
	学用品や教材、制服等に関する意見	9
●子育て支援事業について	子育て支援事業の制度やサービスへの改善要望	68
	児童館等子供の居場所や一時保育の需要（週末、長期休暇を含む）	42
	子育てに関する情報提供や助言、相談窓口、IT化など	27
	支援が必要な人に支援を届けるしくみ	16
●通学路の安全性や子どもの送迎負担等について	通学路の安全性、街灯や道路インフラに関する懸念がある	64
	子供の移動手段／公共交通への要望／送迎の負担	52
●町内の医療環境について	小児科、産婦人科等、医療環境が貧弱	58
●町内環境、イベント要望等	子供が利用できるサービスやイベント、商業施設への要望	35
	自然環境や町の魅力についての意見	17
	地域とのつながりについての意見	6
●子育てに関する経済的支援	医療費や給食費、学費等の無償化について	34
	子育てで家庭の経済的負担軽減について	17
●子どもの遊び場に関する意見	公園不足／公園の使い方／遊具の数や質に不満	31
	屋内等、子供が安全に遊べる施設について	26
●教育に関する意見	習い事等学習機会や芸術に触れる機会を増やしてほしい	14
	中学・高校教育への不安、要望	9



軽井沢町